

令和7年度 第1回 湖南広域休日急病診療所運営委員会議事録		
日 時	令和7年7月23日（水） 14時00分～15時00分	
会 場	湖南広域行政組合総合庁舎3階 市民防災ホール	
出席者	委 員	草津栗東医師会 新木委員、草津栗東医師会 白波瀬委員、守山野洲医師会 松川委員、守山野洲薬剤師会 間下委員、滋賀医科大学 塚村委員、済生会滋賀県病院 平泉委員、済生会守山市民病院 野々村委員、市立野洲病院 前川委員、県立総合病院 野澤委員、草津保健所 川上委員、守山市民代表 田中委員、栗東市民代表 太田委員、野洲市民代表 平田委員
	事務局	草津市 井上課長、守山市 遠山次長、栗東市 大橋課長、野洲市 高田課長、湖南広域行政組合 福山総務部長、救急医療事務局 藤江事務局長、山本副参事、辻主任、加藤主任
会 議 資 料		別添のとおり

1. 開 会

事務局長進行

運営委員会規則第4条第2項の規定により、半数以上の委員の出席により会議の成立を報告

2. 委員および事務局の紹介

事務局から委員および事務局等を紹介

3. 委員長および副委員長の選出

委員の互選により委員長、副委員長が決定された。

委員長挨拶

4. 議 事

委員長が議長として議事進行

協議・報告事項（1）令和6年度湖南広域休日急病診療所の診療実績について

○委員長

本日の運営委員会の円滑な議事進行につきまして、委員の皆様方の御協力をよろしくお願い致します。では議事に入る前ではございますが、当委員会で発言された内容は、発言者や個人情報を除きまして、後日、組合のホームページに概要が掲出されますので、御了承いただきますようお願いいたします。

それでは、協議・報告事項（1）令和6年度湖南広域休日急病診療所の診療実績について、事務局より説明をお願いします。

○事務局長

令和6年度湖南広域休日急病診療所の診療実績について、資料2ページから4ページに基づき説明。

○委員長

ありがとうございました。ただ今の令和6年度診療実績について説明がございましたが、委員の皆様からご質問、ご意見がございますでしょうか。

患者数の推移でいきますと、令和5年と令和6年ではトータルでそんなに大きな差は出ていませんので、コロナの時期を経て一時期患者が減ったという形にはなっていましたが、この感じでいきますと大体これくらいがベースで行くのかなというのが印象です。ただ、これに加えて年末年始とかにインフルエンザであるとかコロナであるとか流行状況によって少し上下は出てくると思いますが、トータルすればそんなには変わらないという感じにはなってくると思います。また、トータルで見ると小児の割合が50%を超える形になりますが、年末年始に限っては小児の割合は30%後半くらいで、成人内科の受診者の方が多いという状況になっています。

何かご意見ございますか。

○A委員

夜の8時以降の受診ですけれども、10名でパーセンテージも11%程度となっていますが、令和5年度と比較して増えていますか。

○事務局長

概ね同程度で推移しています。毎年これくらいのパーセンテージになっているところです。

○B委員

年末年始の受診者数ですけれども、1日平均で令和6年度は350人くらいになっていますが、令和4年度、5年度と比べますと、やはり混乱の度合いがかなりひどかったのでしょうか。

○事務局長

後程、令和7年度の年末年始の診療体制のところでご説明をさせていただこうかと思っておりますが、よろしいでしょうか。

○B委員

はい、それで結構です。よろしくお願いします。

○委員長

B委員のご想定のとおりでございます。このことについては、後程今年度の年末年始の診療体制のところでお話が出てきますのでよろしくお願いします。

協議・報告事項（2）令和6年度湖南広域休日急病診療所特別会計歳入歳出決算および協議・報告事項（3）令和7年度湖南広域休日急病診療所特別会計歳入歳出予算について

○委員長

それでは、協議・報告事項（2）令和6年度湖南広域休日急病診療所特別会計歳入歳出決算および協議・報告事項（3）令和7年度湖南広域休日急病診療所特別会計歳入歳出予算については、関連することから事務局から一括して説明をお願いします。

○事務局長

令和6年度湖南広域休日急病診療所特別会計歳入歳出決算および令和7年度湖南広域休日急病診療所特別会計歳入歳出予算について、資料5ページから6ページに基づき説明。

○委員長

ただ今事務局から説明がありましたが、委員の皆様からご質問、ご意見はございますでしょうか。

○C委員

確認ですけれども、予算、決算は組合議会議決事項になるかと思いますが、我々委員としては報告を受けているという認識でよろしいのでしょうか。

○事務局長

そのように受け取っていただければ幸いです。

○委員長

また後程でできますが、年末年始の体制を強化するのにスタッフを増やすところから、その辺りが予算的に出てくるというのがあります。

○D委員

令和6年度は正月からインフルエンザが大変な時期だったということで、会議でお話を聞く度に、スタッフの増員やどうしたらよいかということを聞いています。それで今回、それに対して回答というか増額していただいてありがたいことだと思っています。

協議・報告事項（４）令和7年度湖南広域休日急病診療所年末年始の診療体制について

○委員長

それでは続きまして協議・報告事項（４）令和7年度湖南広域休日急病診療所年末年始の診療体制について、事務局より説明をお願いします。

○事務局長

令和7年度湖南広域休日急病診療所年末年始の診療体制について、資料7ページから8ページに基づき説明。

○事務局長

先ほどB委員からご質問いただきました、年末年始の受診者数や診療状況ですが、診療終了時間が予定の22時から大幅に遅れて診療が終了しています。また、会計等の業務終了につきましては、診療終了時間から更に1時間から3時間、日によっては4時間かかるというようなことで大変遅くまでスタッフの皆様にはご協力いただいたところでございます。

○委員長

確認をしておかなければならないのは、今年度の年末年始に関して、本来年末年始の日数は12月29日から1月3日までの6日間になりますが、来る今年度の年末年始は12月28日と1月4日が日曜日となりますので、合計8日間が殆ど年末年始と同じような体制を執らざるを得ない状態になっています。

現状年末年始体制というのは6日間という規定がありますが、この辺の規定を変更していかなければならない部分があると思います。こういう事態は、次年度は起こりませんが、また数年経ったら同じ事態が起こってきますので、本来12月28日と1月4日も特別な日として扱わないと、やはり報酬的な面であつたりとかも問題が出てきますので、こういった事について、ここの場で決定できる話ではありませんが、その辺りも検討をお願いします。

それと資料8ページのところの令和6年度年末年始の診療状況について事務局から説明していただきましたけれども、12月31日、1月2日の業務終了が4時30分と異常な状態となっていました。資料を見ても12月31日と例えば1月1日の違いというのは、内科の受診人数の違いとなっています。1月2日も内科が241人、12月31日も内科が224人となっています。やはりこの表から見た時に、令和6年度の年末年始は、内科の最後の3部は医師1人で診察を行ったことも少しは影響しているというのがあるのではと考えます。それ以外にも事務的な流れの方が滞ってしまうということが一番大きな要因だったので、今年度は事務的な職員を増やす、電話対応の職員を増やすということをしていますけれども、それだけではやはりまだ厳しいところがあると思いますので、今年度は内科の診療体制も全体を通じて2人体制にするという形にすることで、もう少しスムーズにできるのではないかとということで検討させていただきました。また、(2)の時間帯別受付状況について事務局か

ら説明がございましたが、例えば内科の9時から10時に10人が受付しましたということではありません。年末年始では、朝9時30分に受付が始まる時点で何十人も患者が並んでいます。よって10人というのは9時から10時に受付の手続きが出来た人数が記載されているということで、その時間帯に並んでいる患者さんの数はいっていません。ですので、どんどんどんどん後ろ倒しになっていっているという状況が、そこに発生しているということをご理解ください。

よって問題は受付終了時間をどうするかというところが課題となっています。今は22時までの診察で、21時30分まで受付をしています。その辺りをもう少し短縮できないかということがあります。このことについて何かご意見はございますでしょうか。E委員何かご意見ございませんか。

○E委員

確かに異常な時間に終了しているので皆さんのご負担がすごく大変であったと思います。ですので、受付時間の短縮自体は必要だと思います。ただ前回の診療体制調整会議で18時という案も出ていたかと思いますが、18時だと大半の患者さんが当院に流れてくるのではないかと心配しています。21時半は確かに遅いかと思いますので、1時間の短縮とかで事務の方の体制も強化していただいていますし、内科の医師の体制も強化していただいていますので、1時間短縮するだけでも皆さん帰る時間も早くなるのではないかと思います。いろんな問題があるとは思いますが。

○委員長

1時間手前、21時30分になっているところを20時30分にしたらどうかというご意見が出ておりますけれども、他皆さんいかがでしょうか

○F委員

どの時点で切られるのでしょうか。受付するため並んでいるときに終了時間が来た場合、そこで切られるのか。受付終了時間までに並んでいる場合は受付可能なのか。どのようにお考えでしょうか。

○委員長

受付終了時間に既に並んでおられる方は、受け付けていただくことになるとうご理解いただいていると思いますのでご安心ください。他ご意見いかがでしょうか。ここで最終決定できるというものでもないのですが、皆さんからご意見をいただいて最終どうするかというところになってきます。実際のところ受付時間を短くすればするほど、二次救急病院の方に患者さんが流れてしまいますので、それもまたよくない状況となりますので、そこが非常に難しいところだと思います。ただ休日急病診療所というのは、結局平時であれば診療所が空いていて、その時間帯に受診すべき患者さんが行くということが前提なわけですから、それを考えると通常の診療時間というのは今日もそうですけれども朝の9時から始まって夜は大体19時とか遅いところでも20時で終わっているわけです。ですので、実際にはそれぐらいの時間帯で終了してもそんなに問題はなく、受付は終了するという形ではあっても、実はそこまでのクレームは出ないのかなと思います。現状21時半まで受付をして22時まで診察をしているというのは小児の救急体制との兼ね合いでしているところがございますが、平時はそのまま行きますので、受付時間の短縮というのはあくまで年末年始の混乱する時期だけの話ですので、そこは誤解のないようにしていただきますようお願いいたします。おそらく1時間か2時間の範囲内くらいで、前倒しで終了ということにさせていただく形に最終は決定するかなという感じかと思っていただけだと思います。他の地域の休日急病診療所では受診人数で切って終了としているようなところもあったりしましたが、そういう体制にすると午前中で予定の人数に達して、午後からは誰も診療してもらえないような状態になった

りする可能性もありますので、このような体制にはしないように考えています。あくまでも受付の時間を少し短縮させていただければという内容になっていますので、その点はご了承ください。

○B委員

検査のことですけれども、インフルエンザの検査回数というのは、令和6年度の年末年始の検査数は多かったのかどうか分かりませんが、今年度はキットの数が足りなくなるとか、また診療日が実質8日間になると、小児の場合とかは、検査を翌日何処かの病院でとはいかなくなりますし、また二次救急病院に流れてくるというのもできませんが、昨年度と同じような体制でいけるのでしょうか。

○委員長

今年度の年末年始も、令和6年度の年末年始と同じような体制で考えています。この期間はインフルエンザ、コロナの抗原検査を行うという形では考えています。ただ、前年度の年末年始も検査キットが若干不足することになりました。1診療日ごとに割り当て分の数を確保していましたが、途中で割り当て分に達した場合、その後は検査できないという体制にしていたので、実際には検査キットは不足気味という状態でした。この辺りは予測ができませんので、年末年始だけ検査を実施するという形にしていますので、検査キットを大量購入してしましますと、使用期限が切れてしまうということにもなりかねませんし、翌年度に使用できるというのは中々難しく、今後使用期限の長いキットが出てくるかは分かりませんので、十分な数量を購入するのは難しいと考えます。6日間が8日間になりますので、用意する量は多くするようにして対応できるように検討させていただきます。

○副委員長

検査の件で補足します。昨年はインフルエンザ・コロナ同時検査キットを500検体の検査ができるように準備しました。6日間で1日80件までをリミットにして、80件を超えた場合には検査なしとして薬を出していたと思います。委員長がいわれたとおり、キットには使用期限がありますので、大量購入しても次のシーズンまでもたないことから、購入数については毎年悩むところでは。

○事務局長

先ほど松川副委員長がお話しされたとおり、昨年度は50箱500キットを準備させていただきました。今年度につきましては、当初6日間の計画をしておりましたので、60箱600キットを予算計上させていただいています。ただし、検査実施期間が8日間に伸びましたので、そのことを踏まえまして次回薬品審査委員会を10月頃に予定していますので、その時期の感染状況を見極めながら、委員の先生方にご判断いただき、キットは必要数準備させていただきたいと思います。

○委員長

他何かご意見はございますでしょうか。

そうしましたら、受付終了の時間に関しましては、検討させていただきまして決定するという形になると思いますので、よろしくお願いします。

○事務局長

今後の検討について、次の会議は薬品審査委員会と診療体制調整会議を10月くらいに予定させていただいていますが、そこで決定ということによろしいでしょうか。

○委員長

どうでしょうか。ここで決定ということであれば1時間短縮ということになりますけれども、皆様いかがでしょうか。それでもいいかと思いますがよろ

しいでしょうか。

○A委員

済生会滋賀県病院の先生はご了解いただけるのでしょうか。

○E委員

このままの体制では、いけないと考えています。こんな時間まで皆さん頑張っておられるのは尋常ではないので、短縮すること自体はもちろん必要だと思っています。1時間の短縮辺りでいかがかなと当院では考えています。

○A委員

それは年末年始の話でよろしいか。平時は21時半まででよろしいか。

○B委員

1時間の短縮というのは、現在の21時半から1時間短縮で20時半ということでしょうか。

○E委員

今現在が21時半ですので、1時間短縮の20時半受付終了でもさほど混乱は起こらないのかと思います。

○委員長

周知期間が必要になってきます。

それでは1時間の短縮ということで、ここで決定させていただくということで、皆様からのご異議がなければそうさせていただきます。では、現状21時30分受付終了ですけれども、今年度の年末年始と12月28日、1月4日を含めた8日間に限り1時間短縮して20時30分を受付終了時刻とするという形にさせていただきたいと思います。この形で市民の方に周知していただくようよろしくお願いします。

協議・報告事項（５）令和７年度湖南広域休日急病診療所の診療状況について

○委員長

それでは続きまして、協議・報告事項（５）令和７年度湖南広域休日急病診療所の診療状況について事務局から説明をお願いします。

○事務局長

令和７年度湖南広域休日急病診療所の診療状況について、資料９ページに基づき説明。

○委員長

ありがとうございます。ただ今の説明で、ご質問、ご意見がありますでしょうか。

その他（１）会議のペーパーレス化について

○委員長

続きまして、その他の事項になります。（１）会議のペーパーレス化について、事務局から説明願います。

○事務局長

当行政組合では、ごみの減量とコストの削減を目的といたしまして、印刷量の抑制に取り組んでおり、今後の会議につきましてはペーパーレスで実施をしたいと考えています。なお、今回同様会議前日までに資料はデータで提供させていただきます。会議当日につきましてはデータを張り付けたパソコンをご用意させていただきます。また、ご自身のパソコンを持参される方、紙ベースで資料を準備してほしいといった要望がございましたら、前日までに事務局までご連絡をいただきますようお願いします。ご理解とご協力の方よろしくお願いします。

します。

○委員長

ただ今事務局から説明がございましたが、委員の皆様方からご質問、ご意見はございますでしょうか。

○D委員

パソコンが使えないのですが、今のお話ですと会議前日までに紙資料を要望すれば、今までどおりの形でいただくことはできるのでしょうか。

○事務局長

そのようにさせていただきます。

○委員長

時代の流れということになりますので、よろしくお願いします。両方を用意していただけるということですのでご安心ください。

その他（２）その他

○委員長

それでは続きまして、その他の内容ですけれども、事務局から何かございますでしょうか。

○事務局長

特にございません。

○委員長

それでは委員の皆様方から何かございますでしょうか。これまでの議事に関するご意見等を含めて何かございますでしょうか。

○F委員

一つご教示いただきたいと思います。昨年１２月３０日に済生会滋賀県病院の前まで行ったら、休日急病診療所のところに、ズラーっと並んでおられるのを見かけましたが、これはインフルエンザが流行っていたのでしょうか。

○委員長

昨年の年末年始は大概がインフルエンザでした。コロナの方もおられましたが主はインフルエンザでした。おそらく昨年度の年末年始がそのような状況になったのは、年末年始の少し前の時期からインフルエンザの流行が急に始まったと思われます。インフルエンザは流行が始まりますと、すごい勢いで急激に患者が増えます。それが丁度この時期に重なったものと考えます。以前ですと年末年始に確かに流行りますが、年末年始を過ぎたあたりからグーっと増えることがこれまで多くて、年末年始に里帰りをしてそこで感染者が増えてきて、成人式辺りでひどい状態になるというのが例年よくあるパターンだったのですが、昨年度の年末年始に関して言うなら、丁度年末年始に流行の時期が当たってしまったのかなということで、かなりの患者さんが発生したのも一つの要因と考えます。またこれが予測できないところで、今年度の年末年始もこのような状況になるのか、あるいはもう少し時期が遅れて流行ということになるのであれば、ここまでの患者数にならないかもしれないということで、そこが難しいところになります。

他何かございますでしょうか。

○A委員

昨年度については、検査キットは使い切ったということでよろしいでしょうか。

○事務局長

そのとおりでございます。

○A委員

もし余るようでしたら、その後も検査をさせていただき使い切るまでというのはいかがでしょうか。従前はインフルエンザの検査と、小児は溶連菌の検査も実施していましたが、それを復活するという予定はありますか。

○事務局長

診療体制調整会議や当委員会等でご検討いただければ変更は可能かと思えます。

○委員長

コロナが流行るまでは、休日急病診療所では年末年始だけではなく、普通にインフルエンザの検査を実施していました。それがコロナの流行の時期から、こういった検査自体が危険を伴うという事がありましたので、一旦は検査を実施しない形にしていました。コロナ感染症が５類になり危険性が薄れてきたところで抗原検査を再開したのですが、それも年末年始の時期だけという形にさせていただいているのが現状です。確かに多めに購入して年末年始はしっかり検査を実施できるようにし、残った分を捨てるのではなく、使い切るという考え方もありますが、そうすると受付時に患者に説明する際に検査ができるのか、できないのかについて、はっきりしないことからややこしいことになることも考えられますので、そのことについては今後の検討という事になるかと思えます。

他いかがでしょうか。無いようですので、それでは委員の皆様、議事進行にご協力いただきありがとうございます。事務局へお返しします。

○事務局長

ありがとうございました。

以上を持ちまして、令和７年度第１回湖南広域休日急病診療所運営委員会を終了させていただきます。